

# 海軍公報

(部内限) 第四千二百十七號

昭和十七年十月十二日(月)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房第六〇五六號

大東亞戰爭中特急工事遂行上廳長必要アリト認メタルトキハ技手養成所練習工補修科工員及見習科ヲ修了セル見習工員ヲシテ職種別實業ニ代フルニ工事ニ從事セシムルコトヲ得

此ノ場合補修科工員ニ付テハ工員養成所教育規程第十九條ニ依ル教育ハ當該學年ニ於ケル合計授業時數ヲ變更セザルモノトシ見習科ヲ修了セル見習工員ニ付テハ海軍工員規則第八十九條ノ規定ニ拘ラズ二時間以内ノ増服業ニ服セシムルコトヲ得  
工事ニ從事セシメタル場合ハ其ノ服業ニ應ジ勤勉加給  
特殊事業加給及獎勵加給ヲ支給スルコトヲ得  
前項ノ勤勉加給ノ支給ハ海軍工員規則附表第三號勤勉加給表ニ依ルモノトス

昭和十七年十月十二日

海 軍 大 臣

## ○通 牒

官房第六〇五七號

昭和十七年十月十二日

海 軍 大 臣 官 房

各 廳 長 殿

勅使御差遣幣帛下賜ニ關スル件通牒

大東亞戰爭ノ戰死、戰傷死者ニ對スル首題ノ件今般左記ノ通定メラレタル趣宮内次官ヨリ内報有之候條了知相成度

記

海陸軍將官(奏功官等)ニシテ大東亞戰爭ニ出征シ戰死又ハ戰傷死ヲ遂ゲタル者ニ對シテハ其ノ葬送ニ際シ特ニ勅使ヲ喪家ニ御差遣幣帛ヲ下賜セラル

(參照) 諸例則卷一、八〇頁

官房第六〇五八號

昭和十七年十月十二日

海軍省 副官

關係廳長殿

御下賜品ヲ郵便ニテ差出方ノ件通牒

戦地ニ在ル軍人軍屬ニシテ御下賜品ノ内地轉送ヲ希望スルモノハ左記ニ依リ無料郵便物トシテ差出シ得ルコトト相成候條可然取計ヒアリ度

記

- 一 書留ト爲サザル軍事公用小包郵便物トシテ取扱フコト
- 二 右ニハ御下賜品以外ノモノヲ合裝セザルコト
- 三 成ル可ク各部隊ニ於テ取纏メ軍用郵便所又ハ同派出所ニ差出スコト

○ 辭令

海軍技術會議議 上野 權太  
員海軍機關大佐

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(海軍省)

上野 清

在墨館附武官室ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(海軍省)

軍令部出仕海軍中佐 和智 恒藏  
特務班長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍省)

軍令部課長海軍大佐 金岡 知二郎

第一部第十二課長ヲ命ス

軍令部部員海軍大佐 中村 健夫

(各通)

同 高崎 能彦

(各通)

同 三代 辰吉

兼第一部第十二課勤務ヲ命ス(以上同)

海軍中佐 金岡 知二郎

參謀部第一部第二課勤務兼同防備班長ヲ免シ參謀部

第一部第十二課長ヲ命ス

海軍中佐 中村 健夫

(各通)

同 高崎 能彦

參謀部第一部第二課勤務ヲ免シ同第十二課勤務ヲ命

ス

同 三代 辰吉

兼參謀部第一部第十二課勤務ヲ命ス(以上同)

營海軍部)

同 魚住 頼一

海軍大佐	堀江義一郎(艦本)
同	中川 浩(阿賀野)
海軍中佐	友成 潔(同)
同	平田 勉(艦本)
同	木田 達彦(同)
同	田中正雄(同)
同	岡 三知夫(同)
同	南 六右衛門(軍務)
同	上出 俊二(航本)
同	岩島 二三(艦本)
海軍少佐	岩城 繁(軍令)
同	池上 巖(佐鎮)
同	彌永 常人(阿賀野)
同	佐々木富三男(同)
海軍大尉	蒲生 一郎(同)
海軍機關中佐	田中 千春(軍務)
同	森本 一男(阿賀野)
同	田中 和四郎(佐鎮)
海軍機關少佐	坂上 五郎(艦本)
同	川又 政信(同)
海軍主計大尉	井手 弘(阿賀野)

(各通)

海軍造船少佐 遠山 光一(艦本)  
 海軍造船大尉 中川 勝也(佐廠)  
 軍艦阿賀野審議委員ヲ命ス(同海軍艦政本部)

海軍公報(部内限)第四百二十七號 昭和十七年十月十二日

(限 内 部) 0224

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年十月十二日(月)  
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第五九九六號

昭和十七年度新造雜役船ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十七年十月九日

海 軍 大 臣

公稱番號	船種	所屬	定數別	製造訓令番號	計畫番號	竣工豫定期日	備考
自第一四七號至第一四九號	同 (同)	海軍機關學校	同	同十七年官房機密第九七四九號ノ四(舞鶴)	自一四八至一四九	同十月末日年	
自第一四六號至第一四七號	カッタ (九米)	海軍兵學校	定數補充	昭和十七年官房機密第九七四九號ノ二(吳)	自一四七至一四八	昭和十七年十一月末日年	
自第一五〇號至第一五二號	同 (同)	横須賀第二海兵團	同	同十七年官房機密第九七四九號(横須賀)	自一四九至一五〇	同十一月末日年	

海軍公報 (部内限) 號外

第一五七號	第一五六號	第一五五號	第一五四號	第一五三號	第一五二號	第一五〇號	第一四九號	第一四八號	第一四七號	第一四六號	第一四五號	第一四四號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)
(假稱) 樺山海軍航空隊	(假稱) 麗水海軍航空隊	相模野分遣隊		横須賀海軍航空隊		(假稱) 出水海軍航空隊		築城海軍航空隊		(假稱) 香取海軍航空隊	三重海軍航空隊	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同第十七年官房機 密第九七四九號	同第十七年官房機 密第九七四九號 (鎮海)	同第十七年官房機 密第九七四九號 (横須賀)		同第十七年官房機 密第九七四九號 (佐世保)		同第十七年官房機 密第九七四九號		同第十七年官房機 密第九七四九號 (吳)		昭密和第十七年官房 機密第九七四九 號(舞鶴)		昭密和第十七年官房 機密第九七四九 號(舞鶴)
一七二二〇	一七二二四	一七二二四	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇	一七二二〇
同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年	同 十月末 日年

海軍公報 (部内限) 號外

第 五 五 三 號	第 五 五 二 八 號	第 五 五 二 五 號	第 五 五 三 號	第 五 五 二 號	第 五 五 〇 號	第 五 四 四 號	第 五 四 〇 號	第 五 三 八 號
同  (十二米)	傳 馬 船  (十六米)	內 火 傳 馬 船  (十米)	同  (同)	同  (同)	同  (同)	同  (同)	同  (同)	同  (同)
海軍工作學校	佐世保海軍工廠	橫須賀海軍港務部 (第四工作部用)	元山海軍航空隊	佐世保海軍港務部 (青島方面特別根據地隊司令部供用)	東港海軍航空隊		同	同
同	同	同	同	同	臨時附屬		同	同
同第十七年官房機 密第九七四九號	同第十七年官房第 一三三四號(佐世保)	同第十七年官房機 密第二三三三號 (橫須賀)	同第十七年官房第 一〇五二三號 (佐世保)		同第十七年官房第 一〇五二三號		ノ五(大湊)	
至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七	至自 一七 一七 一七
同 二 月 末 日 年	同 五 月 末 日 年	同 八 月 末 日 年	同	同	同	同 十 月 末 日 年	同	同
潜水用			軍醫科 藥劑科 齒科 官教習用	技術科 見習 尉官教育用	兵科豫備 學生教育用			

第五五五號	第五五六號	第五五七號	第五五八號	第五五九號	第五六〇號	第五六一號	第五六二號	第五六三號	第五六四號
同	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	傳 馬船 (十二米)
海軍兵學校	大湊海軍港務部	第十一海軍航空廠	第十一海軍航空廠 大分支廠	馬公海軍建築部	海南海軍建築部	鎮海海軍建築部	大湊海軍建築部	大湊海軍建築部	橫須賀海軍工廠
同	同	同	定數補充	同	同	同	同	同	臨時附屬
	同十七年官房機密第九七四九號ノ五(大湊)	同十七年官房機密第九七四九號ノ二(吳)		同十七年官房機密第九七四九號ノ七(馬公)		同十七年官房機密第九七四九號ノ六(鎮海)	同十七年官房機密第九七四九號ノ五(大湊)		(橫須賀)
自七一九	自七二〇	自七二一	自七二二	自七二三	自七二四	自七二五	自七二六	自七二七	自七二八
同	同 二月末日	同	同	同	同 十一月末日	同	同	同	昭和十七年 十二月末日





第五二七號	第五二六號	第五二五號	第五二四號	第五二三號	第五二二號	第五二一號	第五二〇號	第五一九號	第五一八號	第五一七號	第五一六號	第五一五號	第五一四號	第五一三號	第五一二號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	傳
(同)	(六米)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(馬八米)
鎮海防備隊	大湊海軍港務部	鎮海海軍建築部	鎮海海軍建築部	馬公海軍建築部	大湊海軍建築部	樺山海軍航空隊	釜山海軍航空隊	麗水海軍航空隊	麗水海軍航空隊	海軍機關學校	同	同	同	同	定數補充
同	同	同	同	同	臨時附屬	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同第十七年官房機 密第九七四九號	同第十七年官房機 密第九七四九號 ノ五(大湊)	同第十七年官房機 密第九七四九號 ノ六(鎮海)	同第十七年官房機 密第九七四九號 ノ七(馬公)	同第十七年官房機 密第九七四九號 ノ五(大湊)	同第十七年官房機 密第九七四九號 ノ六(鎮海)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)	昭十七年官房機 密第九七四九號 號ノ四(舞鶴)
二十七三六	二十七三四	二十七三三	二十七三二	二十七三一	二十七三〇	二十七二九	二十七二八	二十七二七	二十七二六	二十七二五	二十七二四	二十七二三	二十七二二	二十七二一	二十七二〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同



(限 内 部) 0231

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

昭和十七年十月十二日 (月)  
海軍大臣官房

官房第五九九七號

昭和十六年度新造雜役船ノ船名 (公稱番號)、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十七年十月九日

海 軍 大 臣

船名 (公稱番號)	船種	所屬	定數別	製造訓令番號		竣工豫定期日	備考
				製造所	契約納入場所		
第二天海	交通船 (八百噸)	水路部	臨時附屬	三保造船所	清水港	昭和十七年 十月三十一日	
第二四二號	曳 (四百噸)	吳海軍港務部	同	播磨造船所	吳工廠	同 十月末日	
第二四三號	同					同 十一月末日	
第二四四號	同	橫須賀海軍港務部	同	昭和十七年官房機密第七一 七六號 (吳)		同 十月末日	
第二四五號	同					同 三月末日	

海軍公報 (部内限) 號外

第二四五號	第二四六號	第二四七號	第二四八號	第二四九號	第二五〇號	第二五一號	第二五二號	第二五三號	第二五四號	第二五五號	第二五六號	第二五七號	第二五八號	第二五九號	第二六〇號
曳船兼交通船 (百五十艘)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	曳船 (四百艘)
海軍航空技術廠	橫須賀海軍建築部	馬公海軍建築部	馬公海軍港務部	第十一航空廠	佐世保海軍港務部	吳海軍港務部	橫須賀海軍港務部	吳海軍港務部 (聯合艦隊司令部供)	佐世保海軍港務部	臨時附屬	浦賀青島工廠	佐世保工廠	昭和三十四年官房機密第一二三四號(吳)	宇品造船所 吳工廠	同十六年官房機密第一二三四號(吳)
同	同	同	臨時附屬	定數補充	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		同十六年官房機密第一二三四號(馬公)	同十六年官房機密第一二三四號(鎮海)	同十七年官房機密第一二三四號(佐世保)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)	同十六年官房機密第一二三四號(吳)
同十八年六月末日	同	同十八年二月末日	同十八年八月末日	同十八年九月末日	同十八年三月末日	同十八年十二月末日	同十八年八月末日	同十八年九月末日	同十八年七月末日	同十八年七月末日	同十八年七月末日	同十八年七月末日	同十八年七月末日	同十八年七月末日	同十八年七月末日
蒸氣式	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面	工洋方面

海軍公報(部内限) 號外

第五〇〇號	同	(百題)	同	同	同十六年官房機密第一一七 一六號(橫須賀)	同	九月十七日	南洋方面 工事用
第五〇二號	同	(同)	同	同	同	同	同	同
第五〇三號	同	(同)	同	同	同	同	同	同
第五〇三號	同	(同)	同	同	同	同	同	同
第五〇四號	同	(同)	同	同	同十六年官房第一三二番電 (馬公)	同	同	同
第五〇五號	交通船兼曳船 (六十題)	(同)	同	同	同十六年官房機密第一二三 四七號(馬公)	同	同	高雄施設 整備工事用
第五〇六號	同	(同)	同	同	同十六年官房機密第九二八 四號(舞鶴)	同	同	同
第五〇七號	同	(同)	同	同	同十六年官房機密第九二八 一號(大湊)	同	同	同
第五〇八號	同	(同)	同	同	同十六年官房機密第一一七 一六號(橫須賀)	同	同	同
第五〇九號	同	(同)	同	同	同	同	同	同
第五一〇號	同	(同)	同	同	同	同	同	同
第五一二號	同	(同)	同	同	同十六年官房機密第九二八 五號(橫須賀)	同	同	同
第五一三號	同	(同)	同	同	同十六年官房機密第九二八 二號(吳)	同	同	同
第五一三號	同	(同)	同	同	同十六年官房機密第九二八 六號(鎮海)	同	同	同
第五一四號	同	(同)	同	同	同十六年官房機密第九二八 四號(舞鶴)	同	同	同

第五五號	交通船兼曳船 (六十噸)	鎮海海軍軍需部	臨時附屬	同十六年官房機密第一二三 四六號(鎮海)	昭和十七年 八月末日年	
第五六號	(二十噸)	佐世保防備隊	公稱(定數) 代船(定數) 第四七八號	同十六年官房機密第九二八 七號(佐世保)	同十八年 一月末日年	
第五七號	(同)	佐世保海軍工廠	公稱(定數) 代船(定數) 第三〇四號	同十六年官房機密第九二八 二號(吳)	同十七年 六月末日年	トラック用
第五八號	(同)	橫須賀海軍軍需部 (第四電需部用)	臨時附屬	同十六年官房機密第九二八 六號(鎮海)	同十八年 十月末日年	サイパン用
第五九號	(同)	海軍航空技術廠 (第四電需司令部供用)	同	同十六年官房機密第九二八 九號(吳)	同十八年 十月末日年	パラオ用
第五〇號	(同)	吳海軍工廠	定數補充	同十七年官房機密第一二三 九號(吳)	同十八年 九月末日年	
第五三號	内 (火艇 十五米)	海軍潜水學校	同	同十六年官房機密第九二八 二號(吳)	同十八年 十月末日年	
第五四號	(同)	第十一航空廠	同	同十六年官房機密第九二八 二號(吳)	同十八年 十月末日年	
第五五號	(同)	第十一航空廠	同	同十六年官房機密第九二八 二號(吳)	同十八年 十月末日年	
第五六號	(十二米)	橫須賀第一海兵團	同	同十六年官房機密第九二八 五號(橫須賀)	同十八年 十二月末日年	
第五七號	(同)	吳海軍工廠	同	同十六年官房機密第四〇八 七號(吳)	同十八年 七月三十一日年	
第五〇號	(九米)	橫須賀海軍建築部	臨時附屬	同十六年官房機密第九二八 二號(吳)	同十八年 七月三十一日年	南洋方面 工事用
第五二號	(同)	橫須賀海軍建築部	臨時附屬	同十六年官房機密第九二八 二號(吳)	同十八年 七月三十一日年	南洋方面 工事用

海軍公報 (部内限) 號外

第一四四號	第一四三號	第一四二號	第一四一號	第一四〇號	第一三九號	第一三八號	第一三七號	第一三六號	第一三五號	第一三四號	第一三三號	第一三二號	第一三一號	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	カ ツ (九 米)	同	
(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	
海軍航海學校				横須賀第一海兵團				海軍兵學校						
同	同	同	定數補充	代船(定數) 公稱第四五一號	代船(定數) 公稱第四二七號	代船(定數) 公稱第四一二號	同	同	同	定數補充	代船(定數) 公稱第六九〇號	代船(定數) 公稱第四三一號		
墨田川造船所				横須賀工廠				宇品造船所 吳工廠						
同	七同 月 末 日年						八同 月 末 日年			六同 月 二 日年			同	同

五

第一四九號	第一四八號	第一四七號	第一四六號	第一四五號	第一四四號	第一四三號	第一四二號	第一四一號	第一四〇號	第一三九號	第一三八號	第一三七號	第一三六號	第一三五號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)
海軍航空技術廠 (第四艦隊司令部供用)	横須賀海軍軍需部 (第四艦隊司令部供用)			佐世保第二海兵團			吳海軍航空隊	海軍砲術學校	横須賀海軍警備隊	海軍經理學校	海軍通信學校			
同	臨時附屬			定數補充			代公稱(第四九五號) (定數)	同	同	同	定數補充			
										墨田川造船所				
										横須賀工廠				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	九同 月 末 日 年	昭和十七年 八月末日年			
トラック用	同	サイパン用	同	バラオ用	トラック用									



海軍公報 (部内限) 號外

第一七〇號	同	魚雷運搬船 (二十米)	海軍水雷學校	同	石川島造船所	吳工廠	同	同	パラオ用
第一七四號	同	測量艇 (發動機附) (十米)	水路部	定數補充	横濱ヨット 工場	横須賀工廠	同	同	
第一七五號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一七六號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一七七號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一七八號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一七九號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八〇號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八一號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八二號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八三號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八四號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八五號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八六號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八七號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八八號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一八九號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九〇號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九一號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九二號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九三號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九四號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九五號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九六號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九七號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九八號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第一九九號	同	同	同	同	同	同	同	同	
第二〇〇號	同	同	同	同	同	同	同	同	





第五九七號	水	橫須賀海軍建築部	臨時附屬	昭和十六年官房機密第一一七六號(橫須賀)	六月末日年	工南洋方面
第五九六號	同 (百艘積)	馬公海軍建築部	同	同十六年官房機密第一二三四七號(馬公)	七月末日年	工高雄施設 整備工事用
第五九五號	同 (三十艘積)	橫須賀海軍建築部	同	同十六年官房機密第一一七一六號(橫須賀)	五月末日年	工南洋方面
第五四〇號	同 (同)	橫須賀海軍建築部	同	同十七年官房機密第九一七八號(舞鶴)	三月末八日年	工自 トラツ ク 用
第五四〇二號	輕質油船 (百艘積)	橫須賀海軍軍需部 (第四艦隊司令部供用)	同	同十六年官房機密第九二八一號(大湊)	十月末日年	走 バラオ 用
第五四〇三號	同 (同)	大湊海軍軍需部	定數補充	同十六年官房機密第九二八六號(鎮海)	十一月末日年	自 走
第五四〇四號	同 (同)	鎮海海軍軍需部	同	同十六年官房機密第九二八五號(橫須賀)	十月十七日年	同
第五四〇五號	起重機船 (舉揚力十五噸)	橫須賀海軍建築部	臨時附屬	同十六年官房機密第九二八四號(油谷機械工作 所)	六月末日年	同
第五四〇六號	同 (同)	橫須賀海軍建築部	同	同十六年官房機密第九二八七號(佐世保)	五月末日年	同
第五四〇七號	同 (同)	佐世保海軍建築部	同	同十六年官房機密第九二八四號(舞鶴)	七月末日年	同
第五四〇八號	同 (同)	舞鶴海軍建築部	同	同十六年官房機密第一一七一六號(橫須賀)	三月末日年	工南洋方面
第五四〇九號	同 (同)	橫須賀海軍建築部	同			



第五四九三號	第五四八四號	第五四八三號	第五四八二號	第五四八一號	第五四八〇號	第五四七九號	第五四七八號	第五四七七號	第五四七六號	第五四七五號	第五四七四號	第五四七三號	第五四六六號
同	同	同	傳	起	同	同	同	同	同	同	標	鑽	
(同)	(同)	(同)	(馬、十、船)	(重機船、舉揚力二噸)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(大型船)	孔船	
馬公海軍建築部	馬公海軍建築部	馬公海軍軍需部	鎮海海軍軍需部	大湊海軍軍需部	大津海軍航空隊	橫須賀海軍港務部 (第四艦隊司令部供用)			同			橫須賀海軍建築部	
同	同	同	同	同	同	同			同			臨時附屬	
同十七年官房機密第九七四 九號ノ七(馬公)		同十七年官房機密第九七四 九號ノ六(鎮海)		同十七年官房機密第九七四 九號ノ五(大湊)		同十六年官房機密第九二八 二號(吳)			同十七年官房機密第二三一 三號(橫須賀)				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
十月末日年	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	昭和十七年
高雄施設 整備工事用						一組トス					一組トス		南洋方面 工事用

第五四九四號	傳馬船 (八米)	大湊海軍軍需部	臨時附屬	昭和十七年官房機密第九七四號ノ五(大湊)	昭和十七年 十二月末日	
第五四九五號	同	鎮海海軍軍需部	同	同十七年官房機密第九七四號ノ六(鎮海)	同	
第五四九六號	同	馬公海軍軍需部	同	同十七年官房機密第九七四號ノ七(馬公)	同	高雄施設 整備工事用
第五四九七號	同	同	同	同十七年官房機密第九七四號ノ二(吳)	同	
第五〇四號	同	馬公海軍建築部	同	同十七年官房第三〇三二號 (橫須賀)	同	
第五二二號	同	同	同	同十七年官房第三〇三二號 (橫須賀)	同	
第五五七號	同 (十米)	光海軍工廠	定數補充	同十七年官房第三〇三二號 (橫須賀)	同	潜水用
第五五八號	起重機船 (舉揚力二十噸)	橫須賀海軍建築部	臨時附屬	同十七年官房第三〇三二號 (橫須賀)	同	

○正誤  
 三月七日公報(部内限) 號外官房第一二三四號公稱第一四三號ノ項中「同」  
 「第三遣支隊」  
 「司令部供用」  
 「佐世保海軍港務部  
 (青島方面特別根據  
 地隊司令部供用)」  
 二、同公稱第四三八九號ノ項中「標的船」  
 「(大型)」  
 「(標的船)」  
 「(特型)」  
 二、五月二十一日公報(部内限) 官房第三〇五二號

海軍公報(部内限) 號外

中公稱「第二七八九號」ハ「第三七八九號」ニ、七月十八日公報 (部内限) 號外官房第四四〇〇號公稱第一四五八號ノ項中定數別欄「同」ハ「公稱第四四四號」ニ、同公稱第四九六四號ノ項中「同」  
(代船(定數))  
(圖平型)(三十噸積)  
 運貨船ニ、八月一日公報 (部内限) 官房第三〇五二號ノ中公稱「第九六八號」ハ「第一二四五號」ノ孰レモ誤



# 海軍公報

(部内限) 第四千二百十八號

海軍大臣官房

昭和十七年十月十三日(火)

## ○令 達

官房第六〇八四號

昭和十五年官房第五三二三號中左ノ通改正ス

昭和十七年十月十三日

海 軍 大 臣

別表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表)

國 名	增 給 率	適 用 期 間
泰 國	○・四〇	昭和十七年七月乃至九月
備 考	本表ノ適用ヲ受クル者ハ帝國大使館附 武官同輔佐官及同國駐在員ニ限ル	

## ○通 牒

契八機密第一二八四號

昭和十七年九月九日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

機附漁船ノ固有乗員移動報告ニ關スル件

照會

海軍省ニ於テ機附漁船契約書様式(第四様式)ニ依リ  
 備船契約ノ漁船乗組ノ固有乗員ニ異動アル場合ハ其ノ  
 都度當局宛通報ノコトニ相成居候處自今左記ニ依リ處  
 理ノコトニ致度候條可然御取計相成度

記

- 一 經理局宛異動通知ハ取止ムルコトトシ固有乗員ノ  
 交替又ハ疾病等ニ依リ缺員ヲ生ジタル場合ハ當該船  
 所屬廳長ハ海軍徵備船舶船員身上取扱規則第四條ニ  
 依リ所管鎮守府ノ海軍人事部ニ對シ代員補充ヲ請求  
 シ徵備授受ノ際決定セル定員ヲ充員ノコト
- 二 所屬廳長特ニ定員ヲ増減スル必要アル場合ハ豫メ  
 兵備局並ニ經理局宛連絡ノコト

海軍公報(部内限) 第四千二百十八號

昭和十七年十月十三日

一〇八七

○ 辭 令

徵用中年額千參百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(註明海軍省)

小倉 勇

參千參百圓

村山 賢一

貳千七百圓

瀨島 信二

貳千六百四拾圓

稻垣 源太郎

(各通) 貳千六百四拾圓

佐藤 忠吉

千九百貳拾圓

竹田 秀藏

千八百圓

荒木 治男

千五百六拾圓

堀内 徳三郎

徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(註明同)

トス(註明同)

五井 寛二

徵用中年額貳千百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(註明同)

(註明同)

副領事 増田 要

バタビヤ在勤海軍武官附ヲ命ス(註明同)

千六百八拾圓

阿久津 壽

千五百圓

奥田 順造

(各通) 千參百八拾圓

川口 洋

千貳百圓

鹿野 節次郎

徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(註明同)

トス(註明同)

貳千六百圓

江口 馨

貳千五百五拾圓

武信 正治

貳千拾圓

澤 勝藏

貳千拾圓

小西 芳久

千八百貳拾圓

應田 正人

千八百貳拾圓

山内 和三郎

千八百貳拾圓

小長井 喜久雄

千八百貳拾圓

田中 國隆

千八百貳拾圓

海 市 藏

千八百貳拾圓

淺羽 三郎

千六百五拾圓

水野 太賀

千六百五拾圓

橋 善 雄

千六百五拾圓

吉岡 平八郎

千六百五拾圓

松本 吉雄

千六百五拾圓

森 垣 誠

千六百五拾圓

中村 武夫

千六百五拾圓

岸田 龜二

千六百五拾圓

岸田 龜二

千六百五拾圓	九里 良介	千四百七拾圓	鶴田 祐二
千四百七拾圓	伊藤 貞亮	千四百七拾圓	並木 良夫
千四百七拾圓	山内 誠二	千四百七拾圓	野村 英次
千四百七拾圓	橋本 一夫	千四百七拾圓	寺澤 稻雄
千四百七拾圓	橋本 克太	千四百七拾圓	折田 利
千四百七拾圓	成田 直三郎	千四百七拾圓	加藤 清
千四百七拾圓	行松 光雄	千四百七拾圓	小野 守道
千四百七拾圓	澤山 宗之輔	千四百七拾圓	奥野 喜久雄
千四百七拾圓	橋 好茂	千四百七拾圓	水野 長平
千四百七拾圓	小林 健三郎	千四百七拾圓	小山 喜一郎
千四百七拾圓	東久世 秀禰	千四百七拾圓	木村 道儀
千四百七拾圓	尾崎 登	千四百七拾圓	栗田 春治
千四百七拾圓	林 巖	千四百七拾圓	和久 獻二
千四百七拾圓	大熊 惇	千四百七拾圓	西脇 猛二郎
千四百七拾圓	川野 徳	千四百七拾圓	柴田 要
千四百七拾圓	高田 光次郎	千四百七拾圓	水野 金平
千四百七拾圓	小林 賢治	千參百圓	福喜多 學
千四百七拾圓	黒田 完一	千參百圓	宍道 洋一
千四百七拾圓	堀 堅三	千參百圓	石井 克己
千四百七拾圓	山田 儉二郎	千參百圓	澤田 正一
千四百七拾圓	中村 毅	千參百圓	市川 準一

(各通)

海軍公報(部内限)第四千二百十八號 昭和十七年十月十三日

一〇八九

千參百圓	安本利行
千參百圓	山崎 舊
千參百圓	中脇 正一
千參百圓	門田 松亀
千參百圓	鈴木 進
千參百圓	関 達夫
千參百圓	前原大二郎
千參百圓	石井 幸
千參百圓	板垣 勇雄
千參百圓	中島 喜多男
千參百圓	川床 静雄
徵用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(同)	海軍理事官 小市 薫男
第三課勤務ヲ命ス(海軍省兵備局)	海軍機關中佐 齋藤 昇
第二課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)	海軍中佐 中村 馨
第二課勤務ヲ命ス(海軍運輸部)	海軍運輸部勤務兼海軍省兵備局勤務海軍理事官 小市 薫男
(各通)	海軍運輸部勤務兼海軍省人事局勤務海軍理事官 永長 孫八
主トシテ兼務應ニ於テ服務スベシ(海軍運輸部長)	

  

○ 雜 款			
○普通軍事教育圖書 昭和十七年九月中納庫セル普通軍事教育圖書左ノ如シ (海軍文庫)			
圖 書 名	標記番號	類 別	
武士道全書 第七卷	海軍省教普第千六百九十五號	備 品	
戰時國際法規綱要 追加篇	海軍省教普第千七百二號	備 品	
世界興廢 東洋戰史 大戦史 太平洋近代史	海軍省教普第千六百八十號	消耗品	
艦船 識別參考圖	海軍省教普第千七百號	消耗品	
世界優秀飛行機總覽		消耗品	
○郵便物發送先 海軍谷本部隊(公文書類面ニハ東港海軍豫備學生教育主任トス)宛郵便物ハ左ニ依リ發送相成度 東港海軍航空隊殘留隊氣付 海軍谷本部隊御中			
○事務所設置 第二十二設營隊(假稱)事務所ヲ十月五日芝浦海軍建築部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ			

<p>追濱海軍航空隊（假稱）設立準備事務所ヲ十月八日横須賀海軍航空隊整備練習部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ</p> <p>吳鎮守府艦船部隊殘務整理班事務所ヲ十月九日吳海軍經理部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ</p> <p>追テ郵便物ハ</p> <p>吳海軍經理部内吳鎮殘整班宛發送相成度</p>	<p>○事務開始</p> <p>大湊地方海軍運輸部ハ十月十日大湊海軍軍需部構内ニ開設事務ヲ開始セリ</p>	<p>○開應</p> <p>第二海軍衣糧廠ハ兵庫縣姫路市ニ、同廠岡山支廠ハ岡山縣岡山市ニ孰モ十月一日開應セリ</p>	<p>○着任</p> <p>新任 海軍大學校長</p> <p>海軍大將 及川古志郎 本月十日着任</p>	<p>○宿所竝ニ電話</p> <p>海軍大學校長海軍大將及川古志郎宅</p> <p>東京市淀橋區西大久保三ノ九一</p> <p>電話四谷 一一二八番</p> <p>海軍技術研究所化學研究部長海軍造兵大佐金子吉忠宅</p>
<p>藤澤市鶴沼石上二二三二 電話藤澤 九〇番</p>				

海軍公報（部内限）第四千二百十八號

昭和十七年十月十三日

一〇九一

0250

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第四千二百十九號

海軍大臣官房

昭和十七年十月十四日(水)

## ○令 達

官房機密第七二二四號ノ二

臨時軍事費特別會計歳出科目解疏中左ノ通改正ス

昭和十七年十月一日

海軍大臣

科 目	解 疏	被 服 費 (節)	ル 雇員 備人 及 工員 ノ 給料 ヲ 含 ム 費、種 子 類、主 計 兵 教 育 材 料 品
臨時軍事費(款)		備 給 (節)	被 服 及 其 ノ 材 料 ノ 購 買、製 造、加 工 及 修 補 (軍 需 部 及 衣 糧 廠 ニ 於 テ 直 接 造 修 作 業 ニ 從 事 ス ル 雇員 備人 及 工員 ノ 給 料 ヲ 含 ム) 費、洗 濯 賃、半 靴 修 補 料
衣 糧 費 (目)	糧 食 調 理 ニ 要 ス ル 薪 炭 費 等 並 ニ 軍 需 部 及 衣 糧 廠 外 ニ 於 テ 被 服 洗 濯 ノ 爲 要 ス ル 材 料 品 ハ 本 目 ニ 含 マズ。	雜 費 (節)	軍 需 部 及 衣 糧 廠 ニ 於 テ 糧 食 被 服 ニ 關 シ 要 ス ル 機 械 器 具、備 品、運 搬 費、薪 炭 油 類、勤 勉 手 當、從 業 員 體 育 修 養 費、報 國 團 費 其 ノ 他 ノ 雜 費
糧 食 費 (節)	糧 食 及 其 ノ 材 料 ノ 購 買、製 造 及 加 工 (軍 需 部 及 衣 糧 廠 ニ 於 テ 直 接 製 造 加 工 作 業 ニ 從 事 ス		

海軍公報(部内限) 第四千二百十九號 昭和十七年十月十四日

一〇九三

<p>患者費(目)</p>	<p>療用品費(節)</p> <p>療用品及其ノ材料ノ購買、製造、加工、研究、試験及検査(療品廠ニ於テ直接製造加工等ノ作業ニ従事スル傭人工員ノ給料ヲ含ム)費</p>	<p>藥劑費(節)</p> <p>藥品及其ノ材料ノ購買、製造、加工、研究、試験及検査(療品廠ニ於テ直接製造加工等ノ作業ニ従事スル傭人工員ノ給料ヲ含ム)費</p>	<p>雜費(節)</p> <p>病院、軍醫學校及療品廠ニ於テ要スル雇員、傭人及工員ノ給料(療用品費又ハ藥劑費支辨ノモノヲ除ク)、機械器具(療品廠ニ於テ要スルモノニ限ル)、備品、運搬費、雇員傭人被服料、體育修養費、報國團費其ノ他ノ雜費</p>
<p>官房第六一一五號</p> <p>昭和十七年海軍省令第二十五號第十二條ノ規定ニ依ル旅費ニシテ工作廳(火藥廠ヲ除ク)ニ於ケル工員ノ家族ニ要スルモノハ工事費支辨トシ海軍工作廳工事費整理規則別表第一號整理符號「八二」ヲ以テ整理スル義ト心得ベシ</p> <p>昭和十七年十月十四日</p> <p>海軍大臣</p>			
<p>○ 辭令</p>			
<p>氣象技手 金沢 芳宏</p> <p>第一南遣艦隊司令部附ヲ命ス<small>(以初海軍省)</small></p> <p>海軍艦政本部造船監督官兼 造兵監督官海軍機關大佐 佐藤 明治郎</p> <p>大阪監理官ヲ命ス</p> <p>大阪監査官ヲ命ス<small>(以上以初同)</small></p> <p>海軍主計大尉 吉川 正一</p> <p>第六課勤務ヲ命ス<small>(以初海軍省經理局)</small></p> <p>海軍造船大佐 松田 良雄<small>(神戸監)</small></p> <p>(各通) 海軍技師 柴田 傳吉<small>(同)</small></p> <p>第三十九號驅潛艇審議委員ヲ命ス</p>			

<p>海軍機關大佐 林 敏之</p> <p>第三十九號驅潛艇審議委員ヲ免ス(以上ハ海軍艦政本部)</p> <p>海軍中佐 大山 豊次郎(神戸監)</p> <p>海軍大尉 折田 善次(呂〇三)</p> <p>海軍中尉 近 森 朗(同)</p> <p>(各通)</p> <p>海軍機關中佐 岡 寅 雄(艦本)</p> <p>海軍機關特務中尉 篠崎 菊造(呂〇三)</p> <p>呂號第百二潜水艦審議委員ヲ命ス(同同)</p>	<p>○雜款</p>	<p>○旗艦變更</p> <p>第二水雷戰隊司令官ハ九月二十六日旗艦ヲ五十鈴ニ變更セリ</p>	<p>○郵便物發送先</p> <p>自今左ニ依リ發送相成度但シ( )内ハ郵便物宛名ニ記載ヲ要セズ</p> <p>宛 先 發送先</p> <p>一 第三十五航空隊 普通郵便 吳郵便局氣付 [七四五 七武〇]</p> <p>航空郵便 第二十五軍用郵便</p>
<p>一 足柄司令部 所氣付 [七四五 七武〇]</p> <p>普通郵便 吳郵便局氣付 [七武壹]</p> <p>航空郵便 第二十六軍用郵便 所氣付 [七武壹]</p> <p>一 伊第八潜水艦 橫須賀郵便局氣付 [七五〇 七參七經山]</p> <p>一 第二十、第二十一驅潛艇、第八掃海艇 同 (第十軍用郵便所經由)</p> <p>一 橫鎮第六特別陸戰隊 橫須賀郵便局氣付 [七八參 七八四 七壹七]</p> <p>一 伊第十一潜水艦司令部 靖國丸司令部 [七參〇 七參七]</p> <p>一 第二十一航空戰隊 同 第三六軍用郵便所第一派出所經由 [七壹〇 四]</p> <p>一 一七五一航空隊 同 千葉縣木更津航空隊内 [七六九]</p> <p>一 二五二航空隊 同 同 [七壹八四]</p> <p>一 一 護國丸 吳郵便局氣付 [七壹八四]</p> <p>一 第八海軍工作部 橫須賀郵便局氣付 [七壹〇五 七壹八壹]</p>			

海軍公報(部内限) 第四千二百十九號 昭和十七年十月十四日

一〇九五



第三航空隊	臺灣高雄海軍航空隊氣付 〔ウ壹八五〕	靖國丸、伊一七四潛、伊一七五潛、伊一七六潛、伊一七二潛 横須賀郵便局氣付 〔ウ參七經由〕
元山海軍航空隊	青森縣上北郡三澤航空隊氣付 〔ウ壹參參〕	伊一六八潛、伊一六九潛 佐世保郵便局氣付
第十二特別根據地隊	佐世保郵便局氣付 〔イ貳五 一參貳〕	伊一一潛、伊一七一潛 吳郵便局氣付
同 アンダマン分遣隊	同 〔イ壹壹 一參貳 一貳八〕	伊一〇潛、伊二〇潛、伊一八潛、伊一六潛 横須賀郵便局氣付
五十鈴司令部	横須賀郵便局氣付	伊二二潛、伊二三潛、伊二四潛、日枝丸 同(第三四軍用郵便所經由)
水雷艇鴻	普通郵便 横須賀郵便局氣付 〔ウ壹〇五〕	伊二九潛、伊二七潛、伊三〇潛 局留置
舞鶴鎮守府第四特別陸戰隊	航空郵便 第十二軍用郵便所 氣付(壹〇五)	第三百海軍工作部 普通郵便 吳郵便局氣付 〔テ貳壹 一壹五〕
第十九驅潜艇	普通郵便 佐世保郵便局氣付 航空郵便 第四十一軍用郵便所氣付 〔ウ參七 一壹八參〕	第八海軍建築部 横須賀郵便局氣付、 〔ウ壹〇五 一四四五〕
峯風	横須賀郵便局氣付	光島丸 同 〔ウ八八〕
海城丸	十月末日迄到着見込ノモノ 佐世保郵便局氣付	迅鯨、伊一二三潛、伊一二三潛、呂三三潛、呂三四潛 同 〔ウ壹〇五〕
第六航空隊	(第四十一軍用郵便所經由) 横須賀郵便局氣付	伊一二一潛 吳郵便局氣付

<p>○事務引繼</p> <p>前任出納官吏 海軍主計兵曹長 藤野 房太郎 後任出納官吏 海軍主計大尉 坂田 治吉</p>	<p>一 報國丸、愛國丸、清澄丸 佐世保郵便局氣付 「イ壹九 イ壹參留置」</p> <p>一 南西方面艦隊セレベス民政部 普通郵便 吳郵便局氣付 「セ四五 七四貳」</p> <p>航空郵便 第二十五軍用郵便 所氣付 「セ四五 七四貳」</p> <p>一 八重山司令部 普通郵便 吳郵便局氣付 (四十三軍用郵便所 經由)</p> <p>航空郵便 第四十三軍用郵便 所氣付</p> <p>一 東港航空隊本隊 横須賀郵便局氣付 「ウ壹〇五 ッ七四」</p> <p>一 第二十三航空戰隊司令部 臺灣高雄海軍航空隊氣付 「ッ七壹」司令部</p> <p>一 第七五三航空隊 同 「ッ七貳」</p>
	<p>右十月六日事務引繼了了ス (軍艦神川丸)</p>

海軍公報(部内限) 第四千二百十九號 昭和十七年十月十四日

一〇九七

# 海軍公報 (部内限) 第四千二百二十號

海軍大臣官房

昭和十七年十月十五日(木)

## ○ 通 牒

官房機密第一二八〇號ノ一九

昭和十七年十月十五日

海軍省 副官

各 應 長 殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附録所在地區別符表(其ノ三)中「アングダマン イ壹」ヲ加フ

附録部隊區別符表(其ノ一)中「鹿屋航空隊」ヲ「第七五一航空隊」ニ、  
「高雄航空隊」ヲ「第七五三航空隊」ニ改メ左ノ如ク加フ

第二十一 航空戰隊	ウ壹〇四
第八 海軍工作部	ウ壹八壹

第二十 設營隊	ウ壹八貳
舞鎮 第四 特陸	ウ壹八參
第二五二 航空隊	ウ壹八四
第三 航空隊	ウ壹八五
第二十二 設營隊	ウ壹八六
横鎮 第六 特陸	ウ壹八七

(其ノ四) 中「支隊 セ六壹」ヲ加

海人第一號ノ二〇七

昭和十七年十月十五日

海軍省 人事局長

各 應 長 殿

海軍志願兵志願指導ニ關スル件申進

彙ニ昭和十七年官房第九六〇號ノ三ヲ以テ「陸海軍學生生徒又ハ兵志願者ニ對スル指導ニ關スル件」海軍次

官ヨリ部内一般へ通牒アリタル處本月ヨリ海軍志願兵ノ徵募検査ノ開始ヲ見ントスル此ノ際右通牒ノ趣旨ハ此ノ上トモ充分徹底スル様取計ハレ度

追テ去ル十月一日甲種飛行豫科練習生入隊者中某省勤務ノ者ニシテ同省管理ノ官立教習所修業生タル見習工有之タル處同省ノ下級吏僚ガ同省大臣達號ニ於テ見習工ニ義務年限ノ存スルコトヲ楯ニトリ海軍入隊ヲ阻止セントセル事例アリタリ

斯ノ如キハ本年七月十三日附次官會議申合セノ趣旨ニ違背スルハ勿論法的ニ解釋スルモ前記規程ガ海軍志願兵志願ヲ妨グ得ザルモノナル點ニ鑑ミ關係省ニ對シテハ嚴重申入ルル豫定ナルモ海軍部内又ハ海軍管理工場等ニ於テモ此ノ種ノ不祥事ヲ發生セザル様直接少年従業員ニ接スル下級ノ係員ニ對シテモ充分指導ノコトニ取計相成度

尙海軍工員規則第二十一條ニ於テ見習工員ニ對シ見習期間及成業後三年間ノ義務ノ誓約ヲ規定シアルモ本規定ハ海軍志願兵等ノ志願ヲ妨グ得ザルハ勿論萬一右誓約ニ際シ「海軍志願兵等ヲ志願セズ」等ノ誓約ヲ爲サシムルコトハ所謂「公序良俗ニ違反スル」モノトシテ法律上無効タルベキモノナルコトニ關シ

テハ海軍省並ニ法制局及司法省ニ於テモ一致ノ意見ナルニ付念爲

海運機密第三八五號

昭和十七年十月十五日

海軍運輸部長

關係各廳長殿

海軍人員及軍用貨物鐵道輸送手續改正ニ關スル件申進

昭和十七年一月十四日海運機密第十一號海軍人員及軍用貨物鐵道輸送手續中貨物輸送ノ部(一)ヲ左記ノ通改メラレ候

記

(一) 發送豫想

海軍各廳ハ一ヶ月間ニ輸送ヲ要スル海軍軍用及納入貨物ニ對シ様式第三ニ依ル「鐵道輸送貨物發送豫想調書」ヲ作成シ前月二十日迄ニ海軍運輸部ニ到着スル如ク送達スルモノトス

(様式一葉添)

昭和十七年十月七日

海軍兵學校副官

0257

(様式第三)

月分鐵道輸送貨物發送豫想調書							軍衛又ハ部隊名		
種別	品名	發驛	著驛	一ヶ月間發送豫想車數	一日分發送豫想車數	發送元	受領元	記	事
軍用貨物									
納入貨物									
<p>備考 1、本調査ニ於テ「軍用貨物」トハ鐵道軍用輸送券ニ依リ海軍軍衛又ハ部隊名ヲ以テ發送スル一切ノ貨物ヲ、「納入貨物」トハ民間工場等ヨリ海軍軍衛又ハ部隊ニ納入スルモノニシテ發送者ニ於テ運賃ヲ負擔スル貨物ヲ謂フ</p> <p>2、品名ハ概括名稱ヲ以テ記入スルコト</p> <p>3、軍用供出材等ニシテ發著驛別ニ記入困難ナルモノハ縣別又ハ地區別ノ總括ヲ計上スルコト</p> <p>4、一日分發送豫想車數ハ毎日略一定車數ノ發送希望アルモノニ限リ計上スルコト</p>									

(昭和十七年十月十五日海軍公報(部内限))

關係所轄長殿

卒業式ニ參列ノ件照會

來十一月十四日本校第七十一期生徒卒業式並ニ第二期、第二十二期選修學生修業式舉行相成候ニ就テハ勤務ニ差支ナキ限リ第二十一期選修學生修業者可成多數參列方配慮相成度  
追テ準備ノ都合有之ニ付十一月十日迄ニ當日參列可能者官氏名通知相成度

○ 辭 令

第三海軍軍用郵便所員ヲ命ス 遞信屬 加藤 三間

第三海軍軍用郵便所員ヲ命ス 事務員 山本 松治

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

通信書記 廣瀬 源四郎

第四海軍軍用郵便所員ヲ命ス

同 忍 足 哲

第四十一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

集配員 鈴木 長作

第四十一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(海軍省)

海軍中佐 高瀬 五郎

第四課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)

海軍少佐 赤堀 次郎

第一課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)

海軍主計中尉 松浦 大三

第二十二設營隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(海軍省支出官海軍省經理局長)

海軍機關特務中尉 越 後 一

第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

海軍技師 松崎 卓一

兼第一課勤務ヲ命ス(海軍省氣象部)

○ 雜、 款

○事務所設置

第八海軍港務部事務所ヲ十月十二日横須賀海軍港務部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ横須賀海軍港務部氣付大島部隊宛送付ヲ得度

第十七回航班事務所ハ第三南遣艦隊司令部内ニ設置セ

リ

○教育開始

第一期軍醫、藥劑、齒科醫見習尉官教育ヲ十月三日ヨリ元山海軍航空隊内ニ於テ開始セリ  
追テ郵便物ハ朝鮮元山海軍航空隊内海軍福澤部隊宛發送相成度

○取消

本年九月二十三日公報(部内限) 辭令欄中海軍豫備學生森本貢、同石崎一郎ノ辭令ハ孰モ取消ス

○正誤

十月一日公報(部内限) 號外五頁上段二六行目「佐藤六郎」ハ「佐藤六平」ノ、一九頁上段九行目「同」ハ「横須賀海軍建築部囑託」ノ、二五頁下段三行目「廣海軍工廠囑託」ハ「同」ノ、同十二日公報(部内限) 辭令欄中一〇八四頁下段三行及五行中ノ「海軍大佐」ハ「海軍中佐」ノ孰レモ誤

別紙書例（特別用紙）

（昭和十七年十月十五日海軍公報（部内限））

表彰状

工場  
（位勳氏名）

右者

海軍ニ貢献スル所大ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

海軍艦政本部長 位勳功爵 氏

名印



海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年十月十五日(木)  
海軍大臣官房

○ 通 牒

海功調機密第九號ノ三一

昭和十七年十月十五日

海軍功績調査部長

關係各廳長殿

航空關係功績調査資料ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シ當部ニ於テハ主トシテ戰時日誌、戰闘詳報等ニ依リ調査ヲ進メ來リタル處昭和十六年末戰時日誌、戰闘詳報ノ様式ノ改正ニ依リ功績調査資料トシテ必要ナル事項若干削除セラレタル爲功績調査上不充分ノ點アリ特ニ最近ハ事故等ノ爲個人功績明細書ノ亡失スルモノアリテ調査全ク不可能ニ陥リシ例多キヲ以テ左記事項ニ關シテハ自今戰闘詳報ニ記載セラレザル分ニ對シテ別ニ調査資料ヲ調製送付ヲ得度

追テ之等調査資料ハ途中亡失等ヲ考慮シ戰時日誌、戰闘詳報ト關聯シ概ネ毎月毎ニ調製ナルベク速ニ送

海軍公報 (部内限) 號外

付セラレ度尙當部ニ於テハ各所轄別、各飛行機隊戰闘行動別ニ其ノ經過概要竝ニ搭乗員氏名ヲ列舉セル「飛行機隊行動調書」ヲ整備シアルヲ以テ資料提出後事故等ノ爲個人功績明細書亡失セシ場合等ニ利用セラレ差支無之參考迄

記

- 一 飛行機隊ノ戰闘行動ニ就キ其ノ概要ヲ記シタル表戰闘詳報記載提出セルモノニ就キテハ重複スルヲ要セズ哨戒、輸送等輕易ナルモノニ就キテモ其ノ概略記註ヲ要ス
- 記註事項概ネ左ノ如シ
  - 月、日、晝夜別、發着基地、參加機種機數、指揮官、任務、經過ノ概要、成果、消耗兵器、被害狀況、其他功績調査上參考トナルベキ記事
  - 記註ハ簡潔ナルヲ要ス、鉛筆書等ニテモ可
  - 二 右各行動ノ飛行機隊編成竝ニ參加者官(職)氏名配置ヲ知ルニ足ル表、様式適宜、戰闘詳報ニ記載セ

0262

ル場合ハ重複ヲ要セズ

海軍公報 (部内限) 號外

二

# 海軍公報

(部内限) 第四千二百二十一號

昭和十七年十月十九日(月)

海軍大臣官房

## ○通牒

官房第六一六七號

昭和十七年十月十九日

海軍省 副官

各 廳 長 殿

支那事變論功ニ依ル國債ノ内地轉送ニ關スル件通知

戰地ニ於テ支那事變論功ニ依ル國庫債券ヲ受領シタルモノニシテ之ガ内地轉送ヲ希望スル向ニ對シテハ左記ニ依リ取扱ヒ得ルコトト相成候條了知相成度

記

一 支那國債シテモラ包裝シタルモノハ海軍軍用郵便所ニ於テ公用書留郵便物トシテ取扱フコト

二 差出人ハ個人名ヲ記載セズ所屬部隊名(所在地區別符號及部隊區別符號ヲ用フルコト)ヲ用フルコト(名稱人姓家族等私人名ニテ支障ナシ)

## ○辭令

東京海軍通信隊附ヲ免ス(海軍省)

遞信技手 乙部 和夫

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

海軍技術會議議員 海軍機關少佐 宮川 大槻

豐川海軍工廠會計部長 堀 直江

特別會計ノ歳入徵收官及支出官ヲ命ス(以上同)

海軍豫備中尉 梅原 忠衛

水雷艇友鶴ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲ニ隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 佐藤 欽也

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上同) 支出官 海軍省 經理局長)

海軍主計特務中尉 高橋 紀市

横濱海軍航空隊殘留隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費

海軍公報(部内限) 第四千二百二十一號

昭和十七年十月十九日

一一三

支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命シ置キタル處之ヲ免ス(三十九日同)

海軍主計特務少尉 近藤 文藏

美幌海軍航空隊殘留隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計兵曹長 猪股 慶吾

右同分任出納官吏ヲ免ス(三十九日同)

海軍造兵少佐 中村 萬次郎(艦本)

軍艦阿賀野審議委員ヲ命ス

海軍中佐 木 田 達 彦

軍艦阿賀野審議委員ヲ免ス(以上十海軍艦政本部)

鈴木 政一

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セララル

第二課附ヲ命ス(三十九日海軍運輸部)

小野 利雄

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額七拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セララル

第二課附ヲ命ス(三十九日同)

九拾圓

藤沼 義信

(各通) 九拾圓

山田 博

七拾五圓

高野 外次

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セララル

第二課附ヲ命ス(三十九日同)

○ 雜 款

○宿所竝ニ電話變更

海軍技術研究所電氣研究部長海軍少將佐々木清恭宅

東京市中野區鷺ノ宮一丁目七番地

電話荻窪 五六二三番